

2024年7月22日

各位

会社名 株式会社サイトリ細胞研究所
代表者名 代表取締役会長兼社長 星野 喜宏
(コード: 3750 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営企画部長 藤村 剛
(TEL. 03-6860-5701)

(開示事項の経過)
子会社におけるそばじまクリニックとの共同研究に関する
研究計画の一部変更に関するお知らせ

当社連結子会社のサイトリ・セラピューティクス株式会社(以下「サイトリ・セラピューティクス」といいます。)は、2024年5月8日付適時開示のとおり、医療法人再生会そばじまクリニック(大阪府東大阪市荒本北2-2-6、理事長兼院長 傍島 聡)(以下「そばじまクリニック」といいます。)^注との間で、自己ヒト皮下脂肪組織から採取した非培養脂肪組織由来再生(幹)細胞(Adipose Derived Regenerative Cells)(以下「ADRCs」といいます。)を用いた治療方法及び治療技術の開発を目的とした共同研究契約を締結し、現在に至っておりますが、研究計画を一部変更することについて、お知らせいたします。

記

1. 共同研究契約の進捗状況等

当社子会社のサイトリ・セラピューティクス及びそばじまクリニックは、2024年5月8日付適時開示のとおり、ADRCsを用いた治療方法及び治療技術の開発を目的とした共同研究契約を締結し、変形性膝関節症(OA)を対象とした治療に関する研究を現在進行形で進めております。

本共同研究は当初、計20人の変形性膝関節症(OA)患者に対し、現在の既存治療法よりも侵襲性の少ない方法での治療を実施し、その治療効果について既存治療法との比較検証を実施することを予定しておりましたが、当共同研究への参加を希望される患者数が当初の想定を大幅に上回ったことを受け、予定を変更し、計30人の変形性膝関節症患者を対象とすることといたしました。

変形性膝関節症(OA)は、関節のクッションである軟骨が、加齢や筋肉量の低下などによりすり減って痛みが生じる疾患であり、自覚症状のある患者数は日本国内でおよそ1,000万人、潜在的な患者数でおよそ3,000万人とも言われております。また、日本国内のみならず、世界的にも患者数の多い疾患です。サイトリ・セラピューティクスが開発販売するセリューション遠心分離器を用いて抽出されたADRCsの移植による治療は、変形性膝関節症(OA)に対する有効な治療法として、これまでに多数の医療機関で導入され、治療が実施されてきた実績があり、導入していただいている医療機関からはADRCsの高い治療効果について報告がなされております。

サイトリ・セラピューティクス及びそばじまクリニックは、より精度の高い研究成果の検証を目指し引き続き共同研究を実施してまいりますほか、治療効果の向上やより安全な治療法の開発に向け、さらなる検討・検証を実施してまいります。

2. 今後の見通し

研究計画の一部変更による当連結事業年度の業績への影響は軽微と考えておりますが、今後開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

以 上

注) そばじまクリニックについて

整形外科領域を中心に 2016 年より幹細胞移植を始めとする様々な再生医療を提供しています。また、2018 年には細胞培養加工施設を開設し、細胞の採取から加工、移植までの一連の工程を全て自施設内で完結させる体制を構築しています。これまでも複数の企業・大学と連携し、基礎から臨床までの幅広い研究開発に携わっており、それらの成果を科学論文や関連学会で報告するなど、精力的な活動を行っています。

(<https://soba-cli.com/>)

